

今後の中学校部活動の在り方について

学校教育部 学校教育室 教育指導課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市における中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に添った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めています。

このたび令和6年（2024年）以降の試行実施（案）について、現時点での集約を行いましたので報告するものです。

2. 内容

9月の教育子育て委員協議会以後、第3回の枚方市中学校部活動の在り方懇話会を開催し、「ひらかたモデル」の策定に向け、引き続き懇話会のメンバーから本市の現状と課題について、意見を伺い、庁内委員会でも、「ひらかたモデル」作成や試行実施に向けての検討を行っています。また、小中学校児童生徒・地域の方々へのアンケートを実施しました。今後は、アンケート結果なども踏まえて、年度内に試行実施を行います。

(1) 枚方市中学校部活動の在り方懇話会等について

開催日程等

11月2日 第3回枚方市中学校部活動の在り方懇話会

11月17日から 小中学校児童生徒へのアンケート実施

11月17日から 地域の方へのアンケート実施

(2) 「ひらかたモデル」策定に向けての4類型（たたき台）について

① 学校部活動【授業の延長的活動型】

① 統括団体によるクラブ運営型【柏市型・統括団体運営方式】

統括団体を立て、地域にすでにある団体の協力を得ながら運営していく形

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型【部活動指導員による拠点校運営方式】

地域の競技団体等や保護者などを部活動指導員（外部指導者）として運営する形

③ 自由体験型 地域部活動【大学生や保護者などによる運営方式】

大学との連携や保護者会などにより新たな受け皿を設置し運営する形

(3) 試行実施（案）について

実施時期等

○令和6年（2024年）1月～3月

○令和6年度（2024年度）

③ 自由体験型 地域部活動（大学との連携）

① 統括団体によるクラブ運営型

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型

③ 自由体験型 地域部活動

3. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち



4. 関係法令・条例等

学習指導要領【平成29年度（2017年度）告示】

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【令和4年（2022年）12月】

枚方市中学校部活動方針

5. 事業費・財源及びコスト

令和5年度（2023年度）

《事業費》 1,654千円

支出内訳（補正予算） 試行実施協力金 240千円（10,000円/1クラブ×3回×8部活）

試行実施保険料 960千円（生徒：800円×150人×8部活）

74千円（指導者：1,850円×5人×8部活）

（当初予算） 懇話会報償金 380千円

《財源》 一般財源 1,404千円

国の補助金 250千円

来年度以降の保険料についての財源は検討事項とする。

6. 資料

ひらかたモデルの作成に向けて

試行実施について

1. めざす姿

少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保
地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保



2. ひらかたモデル策定に向けての課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策(教員の兼職兼業含む)
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証



3. 懇話会について

- 第3回懇話会 (令和5年11月2日)
案件
- アンケートについて
 - ひらかたモデル策定に向けて
 - 試行実施について

第4回懇話会 (令和6年2月27日予定)



4. 「ひらかたモデル」策定に向けての類型

① 統括団体によるクラブ運営型(案)



各年間45回程度 (原則週1回3時間)

〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等
拠点クラブA 軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ	拠点クラブB 軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ	拠点クラブC ラグビークラブ	

③-1 自由体験型 地域部活動(レア型)(案)

活動回数は種目による

場所未定 Eスポーツクラブ等	場所未定 スケートボードクラブ等	
場所未定 ダンスクラブ等	場所未定 ボウリングクラブ等	場所未定 女子サッカークラブ等

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型(案)

平日・休日含め部活動の実施回数

令和6年
1月~3月 試行実施

〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ ラグビークラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等
〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	〇〇中学校 バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

各年間10回程度

関西外国語大学 〇〇クラブ 〇〇クラブ	摂南大学枚方キャンパス 〇〇クラブ 〇〇クラブ
大阪工業大学 〇〇クラブ 〇〇クラブ	大阪歯科大学 〇〇クラブ 〇〇クラブ

試行実施について

めざす姿

- 少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保
- **地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保

ひらかたモデル策定のための課題

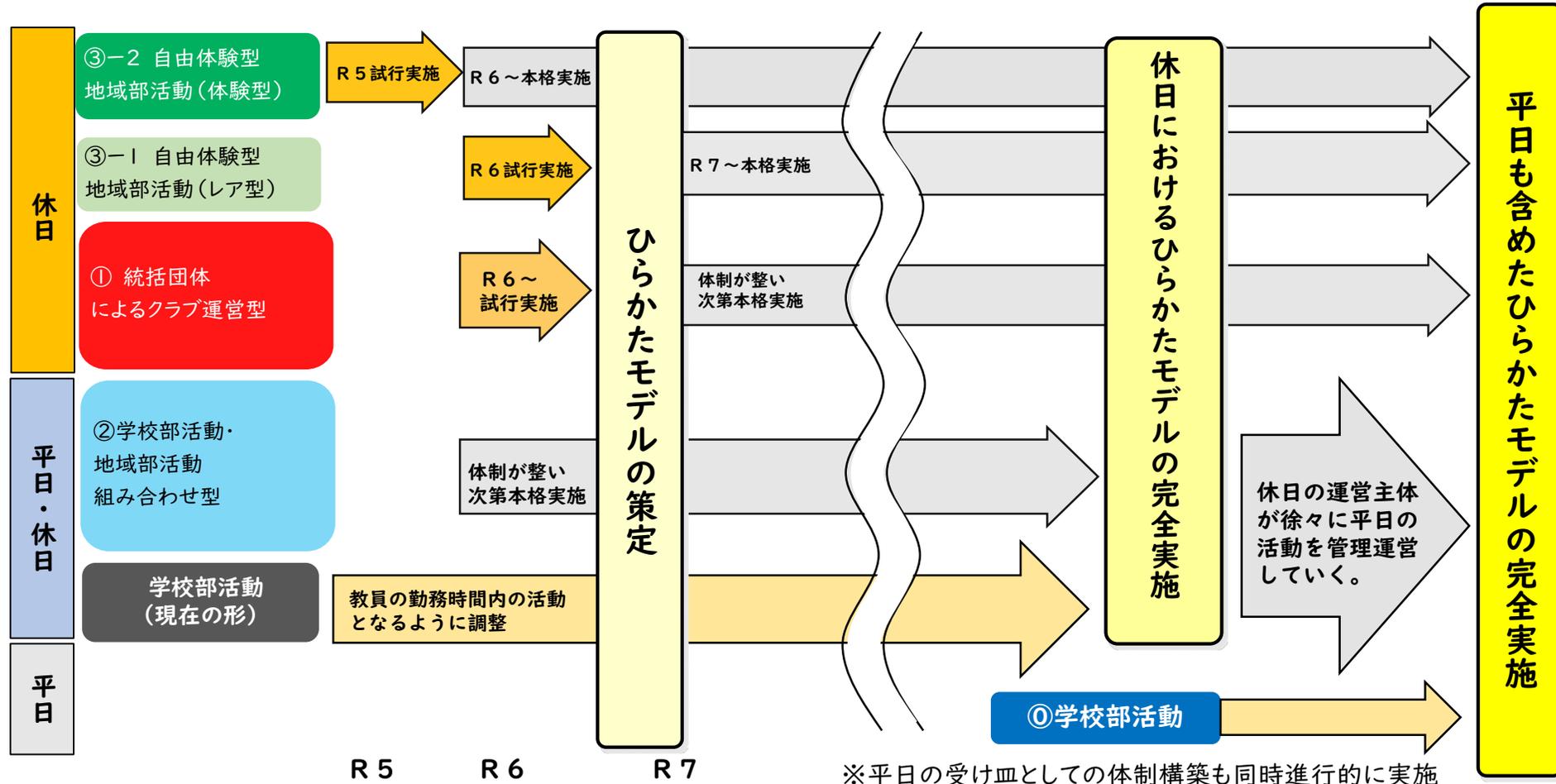
- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策（教員の兼職兼業含む）
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証

ひらかたモデル ロードマップ(平日含む) (案)

枚方市のめざす姿

- ・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して 親しむことができる機会**を確保
- ・**地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化 芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保

※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。



ひらかたモデルにおけるマトリクス(案)

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	参加者の費用負担		責任の所在
				参加費	保険料	
① 統括団体によるクラブ運営型 統括団体により地域クラブを運営していく形	大会などでの活躍をめ ぎす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめぎす	<ul style="list-style-type: none"> 各学校 拠点校 外部施設等 	<ul style="list-style-type: none"> 団体の専門人材 有資格の外部人材 教員の兼業 	検討課題	検討課題	検討課題
③-1 自由体験型 地域部活動 (レア型) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形	大会などでの活躍をめ ぎす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめぎす	外部施設等	<ul style="list-style-type: none"> 団体の専門人材 有資格の外部人材 教員の兼業 			
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 現在の部活動に外部指導者を派遣する形	大会などでの活躍をめ ぎす 様々なスポーツや文化 に親しむことをめぎす	学校	有資格の外部人材			
③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型) 大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化 に親しむことをめぎす	大学等	学生等	無料 (市の負担)	年800円 (参加者の負担)※	当面は市 (詳細は大学とも調整)
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化 に親しむことをめぎす	学校	教員	無料	なし	学校

※③-2自由体験型 地域部活動(体験型)の1~3月の試行実施については、保険料は市が負担する。

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)

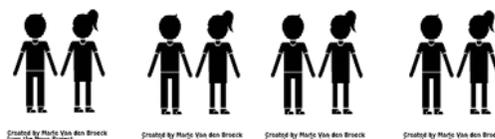
11月16日時点

実施日程	大学	実施クラブ	実施クラブ
1月20日～3月16日 の間の土日に 各部 <u>3回程度実施</u> <u>1回2時間～3時間</u>	関西外国語大学	ESSクラブ	駅伝クラブ
	摂南大学	園芸クラブ	ダンスクラブ
	大阪工業大学	ジャグリングクラブ	ドローンプロジェクト
	大阪歯科大学	〇〇クラブ	〇〇クラブ
各会指導主事1名が責任者として出向く			

大学生



- 内容は、大学生がPBL(課題解決型)として活動内容を検討
- 活動前に、市教委主催の事前研修及び意見交換に参加



大学との連携

枚方英語村 子ども大学探検隊 ひらかた市民大学
中高生を対象とした大学体験事業
関西外大駅伝部の小学生対象の陸上体験教室 など

参加中学生



- 市内中学生が希望するクラブに参加できる。(1回だけでも可)
- 活動に係る保険料は無料(次年度以降は検討事項)
- 活動場所までは、保護者責任のもと移動

本試行実施で検証すべき課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策:大学生の指導者としての可能性
- (2) スポーツ施設の確保方策:大学での活動の実施について
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方:保険の適用範囲の妥当性
- (5) 保護者・地域への周知方法について:チラシを使った周知の妥当性
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証